

newdea	
ICT ツール概要	米国の Newdea 社が 2000 年に開発。我が国では日本語に翻訳したツールが導入されており、現時点日本語で利用できる社会的インパクト評価を目的とした ICT ツールとしては唯一のもの。日本では 2015 年 4 月にツール提供開始。
ウェブサイトアドレス	<a href="http://fundrex.co.jp/newdea/">http://fundrex.co.jp/newdea/</a>
我が国における活用実績	有 (参照 : 2.5 ヒアリング調査、P.57)

提供会社情報	
提供会社	株式会社ファンドレックス
会社概要	「変化と成果を生み出す」プロセスにブレイクスルーを生みだそうとする人と組織を応援することをミッションに、コンサルティングやデータベース導入・活用支援サービス等を提供。
設立年	2008 年
資本金	非公開
所在地	東京都港区
パートナー企業	(ストラテジックパートナー) アジアパシフィックアライアンス他

ツール対象分野	
重点対象分野	対象分野は限定していない。
休眠預金等活用法における 3 分野への活用可能性	有

価格	
基本料金	公益価格 35,000 円、一般価格 50,000 円 (月額)
サポート利用料金	導入コンサルティングサポート 160,000 円 (任意)
その他料金	追加アカウント 公益価格 5,000 円/ユーザー、一般価格 7,000 円/ユーザー <基本パッケージ>5 ユーザーアカウント、基本マニュアルの提供、基本操作に関するお問い合わせ対応 <公益価格の対象>民間非営利法人 (特定非営利活動法人、公益社団・財団、社会福祉法人、大学、非営利型一般社団・財団法人、行政) <一般価格の対象>企業など

ICT としての機能	
使用に必要な専門性	専門知識不要 (一定の IT スキルが必要とされる)
セキュリティ	Microsoft Azure Premium Storage を採用し統合的な情報セキュリティ対策を実施
他ソフトへの連携機能	会計ソフトや関係者データベース等との連携が可能 (連携設定は有料)
デバイスの拡張性	クラウドサービスで PC、タブレット、スマートフォンからアクセス可能

社会的インパクト評価ツールとしての機能	
評価に関する教育	有償でロジックモデル設計コンサルティングを提供している。ロジックモデルと KPI（最重要成果指標）の設定を、組織関係者とのワークショップとヒアリングを通じてサポートしている。
計画	地域、事業、プロジェクトごとなど様々なレベルでロジックモデルを作成可能。アウトカム項目や指標の提示はない。
収集・測定	設定した指標に関するデータを、PC、タブレット、スマートフォンから入力して蓄積可能。
分析	達成進捗状況を一覧で把握・管理することが可能。地域、事業、プロジェクトなど、あらかじめ集計軸を決めておくことで、多角的な数値の積み上げ集計が可能。複数プロジェクトの社会的インパクトの合算が可能。
報告	入力した情報は、インパクトレポートとして出力可能。1回のクリックで利害関係者ごとに異なるテンプレートでのレポート作成も可能。評価の結果明らかになった改善点については、「改善提案」としてプロジェクトの担当ユーザーにタスクを作成してオンラインで知らせることなどが可能。
公開・共有	なし
ICT ツール利用に関するサポート	基本パッケージに設定や利用方法等に関するユーザガイドが含まれている。基本機能の操作方法等については、サポートデスク（無料）を設置。初期設定代行、カスタマイズ、導入コンサルティング、ロジックモデル作成・指標設定等については、コンサルティング（有料）を提供。

活用実績、主要ユーザー	
ユーザー数	非公開
活用地域	米国本土のツールについては 130 カ国以上
主な導入目的	プロジェクトの社会的インパクト評価。データの見える化、共有と報告書作成の業務効率化。
主な立場（資金提供側/需要側）	資金提供側、需要側どちらも想定される。
主な法人形態	法人形態は問わない。
主要ユーザー	国際機関や開発支援の団体
ユーザーの声	データ一元化などのメリットに加えて、指標を定期的に測定することで団体の目的共有等につながっている。

デモ画面

<計画>

プロジェクトのワークシート内でロジックモデルを作成する画面

メインページ > ★マラリア対策パイロットプロジェクト > 測定結果リスト > LM

**測定結果**  
FundrexDemoOrg / アフリカ / 東部アフリカ / ケニア / 保健プログラム / ★マラリア対策パイロットプロジェクト

ワークシート 説明文 関連ドキュメント(0) コメントと掲載設定 値を記録 モニタリング コラボレート

空白のワークシートを印刷

**マラリア対策パイロットプロジェクト**

ロジックモデルに基づいたインパクト・ベース分析 (IBA) はステークホルダーにプログラムのインパクトを報告しながらプロジェクトをデザイン、監視、評価する業界標準です。インパクトに基づく分析はあなたがミッションを実行する際にどのように目標やインパクトを達成しようとしているかを示します。IBA (Impact-Based Analysis) を作る際、目標やどのようなインパクトを与えたいか (左側にある) から開始することを勧めます。次に、インパクトにつながる中期的成果を特定し、アクティビティとその直接の結果を定義し、最後に計画を達成するためのインプットを定義します。

ステータスが承認済みの測定結果のみ、ステータスを変更する適切な権限を持っていません。

名 マラリア対策パイロットプロジェクト ステータス 承認済み ステータス変更ログ  
説明 マラリア対策パイロットプロジェクト  
種別 標準  
プログラム種別 保健  
開始月 4 2012 終了月 3 2017

キャンセル 印刷

切替: ワークシート / 二五図

投入 (Input)	活動 (Activity)	結果 (Output)	成果 (Outcome)	波及効果 (Impact)
資金 医者 ワクチン スタッフ 施設	<a href="#">リンクチャートを見る</a> 住民向け説明キットの開発 他団体との連携による啓発活動 住民向けワークショップの開発 3ヶ所にヘルスボスの新規設立 保健コーディネーターの育成と配置 保健施設改善委員会の設立	キットが開発される (0) ワークショップが開催される (2) 他団体との普及連携が実現する (0) ヘルスボスが開設される (0) 保健コーディネーターが育成される (0) 保健施設改善委員会が設立される (12)	住民の理解度が増える - ST (0) 地域の疾病率が下がる - MT (2) 地域死亡率が下がる - MT (2)	他の医療状況の改善 (2) 地域の経済的効果 (2)

<分析>

管理するプロジェクトの一覧を閲覧する画面

ようこそ test2 newdea.jp: マイアカウント | 検索を切り替え | ヘルプ | サポート | ログアウト

Charities **newdea** project c

メインページ | レポート | 期間

検索:

**マネージャー**  
グループ/プロジェクト変遷: FundrexDemoOrg

注目情報	主な確認事項	予算概算									
更新計画のタスク: 0	プロジェクトの数: 7	計画に対する収入実績の超過: 0									
アラートが設定されている測定結果: 1	サブプロジェクト数: 2	計画に対する収入実績の不足: 0									
承認済みのプロジェクト: 0	懸念事項プロジェクトの数: 1	測定結果 - YTD:									
承認済みの予算: 0	承認されたしもの数: 3	<table border="1"> <tr><td>全体の値</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>収入計画</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>収入実績</td><td>0</td><td>0</td></tr> </table>	全体の値	0	0	収入計画	0	0	収入実績	0	0
全体の値	0	0									
収入計画	0	0									
収入実績	0	0									
承認済みの団地: 0	インシデント数: 30	<table border="1"> <tr><td>収入計画</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>収入実績</td><td>0</td><td>0</td></tr> </table>	収入計画	0	0	収入実績	0	0			
収入計画	0	0									
収入実績	0	0									
	最新のプロジェクト: 2016/04/07	<table border="1"> <tr><td>全体の値</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>収入計画</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>収入実績</td><td>0</td><td>0</td></tr> </table>	全体の値	0	0	収入計画	0	0	収入実績	0	0
全体の値	0	0									
収入計画	0	0									
収入実績	0	0									
	最新の活動報告: 0										

**プロジェクト** **グループ**

プロジェクト	コード	ステータス	予算更新日	測定結果更新日	活動報告更新日	記録更新日	主要な連絡先	項目ごとのタスク	チーム
★マラリア対策パイロットプロジェクト >>		承認済み	2016/06/20	2017/03/22	2015/04/23	2016/02/15	平尾, 千裕	0	
test-subPJ >>		下書き		2016/04/21				0	
プロジェクトテスト >>		下書き						0	
プロジェクト視察ツアー アレンジ >>		下書き	2016/04/02	2016/11/04				0	
マラリア対策パイロットプロジェクト >>		承認済み		2016/03/18				0	
貧困地域における企業連携型職業訓練プロジェクト >>		承認済み		2016/03/14				0	
貧困地域における企業連携型職業訓練プロジェクト >>		承認済み						0	
貧困層を対象とした衛生環境改善プロジェクト >>		下書き						0	
貧困層を対象とした衛生環境改善プロジェクト >>		下書き		2015/04/15				0	

デモ画面

<分析>

プロジェクトごとに、進捗管理している指標の現状をグラフで閲覧する画面

★マラリア対策パイロットプロジェクト  
FundresDemoOrg / アフリカ / 東部アフリカ / ケニア / 保健プログラム / ★マラリア対策パイロットプロジェクト

プロジェクトのメインページ | プロジェクトの詳細 | 診療所 | プロジェクトの総合評価 | アクション

**詳細**

**説明**

モンバサ地域は、マラリアの流行地域であるものの、地域住民は、十分な保健医療サービスを受容できないでいる。その状況を住民参加型で改善するために本プロジェクトを実施する。疾病罹患時や外出時に受診する施設、ならびにその人材が十分ではない。

また、伝統的治療に頼る住民も多く、近代的な医療並びにそのサービスを提供する仕組みの構築並びに人材の育成が急務である。

また、地域の健康問題に取り組むためには、地域が自主的に考え対策を実行する仕組みの構築、保健教育の充実も必須である。

ステータス 承認済み、レポート掲載対象

期日 2012/04/01 - 2017/03/31

活動地 ケニア [地図を表示](#)

**進捗モニタリングと評価**

測定結果の管理 (7) | レポートの管理 (1)

最新の測定結果:  
進行中の測定結果はありません。

評価の管理 (4)

進行中の評価:  
進行中の評価はありません。

**財務情報**

財務情報の管理 (2) | 支出管理

進行中の予算はありません。

KPI (重要成果評価指標) (拡大 | 印刷)

罹患率の変化  
ターゲット値 - 0.0%  
最新の実績値 - 5.0%

マイルストーン 実績

<報告>

蓄積されたデータや入力した文章をインパクトレポートとして作成する画面

★マラリア対策パイロットプロジェクト  
【インパクトレポート】

このプロジェクトの取り組み内容の説明

本プロジェクトの取組内容としては次のことを実施する。

**1. 住民教育の改善**

- 住民へのマラリア教育の現状調査と課題の分析
- 日本漫画、アニメを利用した住民向け説明キットの開発
- 住民向けワークショップの開催
- 他の同地域で活動する別分野団体との連携による啓蒙活動

**2. 早期診療体制の構築**

- 3ヶ所にヘルスポストの新規設立
- 各村に保健コーディネーターの育成と配置
- 各村に保健医療改善委員会の設立と継続的運営

**背景と経緯**

同プロジェクトは、1992年にモンバサ地域の保健局長が来日した際に当団体の代表との会合がのち、ケニアの他地域での事業の経験を活かして、モンバサ地域でのモデル事業形成に至った。この貧困女性の起業を支援する女性社会起業家ネットワークや地元商工会議所、初等教育を展開する関係が構築できたことから、こうした団体の既存の活動のチャネルに本事業のコンテンツを展開させる普及の実現を図るといことが検討された。

2007年のモンバサ市長との協議を経て、パイロット事業をスタートさせることとなった。

**受益者**

モンバサ地域の3Districtに住む3万4000人が第一次の直接受益者である。しかし、このモデルが有効に機能した場合には、他地域への展開も図る。

★マラリア対策パイロットプロジェクト  
【インパクトレポート】

**成果 (Outcome) : 地域の疾病率が下がる - MT**

**インジケータ (成果指標) : 罹患率の変化**

インジケータ (成果指標) の説明  
罹患率の変化

ターゲット値: 0.0%  
実績値: 12.0%  
ベースライン値: 30.0%

開始日: 4 2012  
終了日: 3 2017

**結果 (Output) : ワークショップが開催される**

**インジケータ (成果指標) : ワークショップの参加人数**

インジケータ (成果指標) の説明  
ワークショップの参加人数

ターゲット値: 3,000.0  
実績値: 1,414.0  
ベースライン値: 0.0

開始日: 4 2012  
終了日: 3 2017